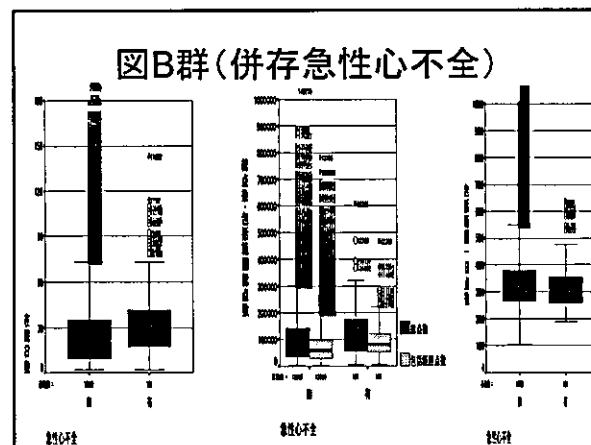
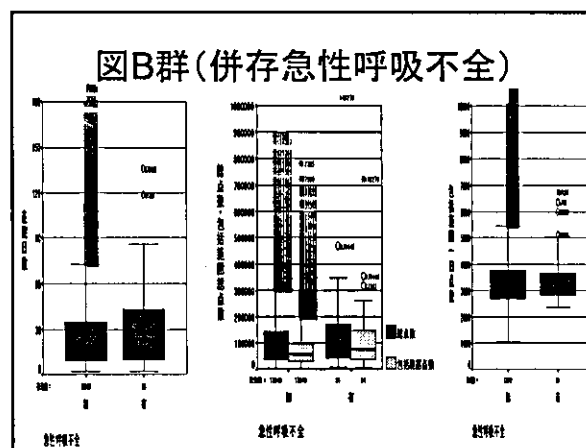
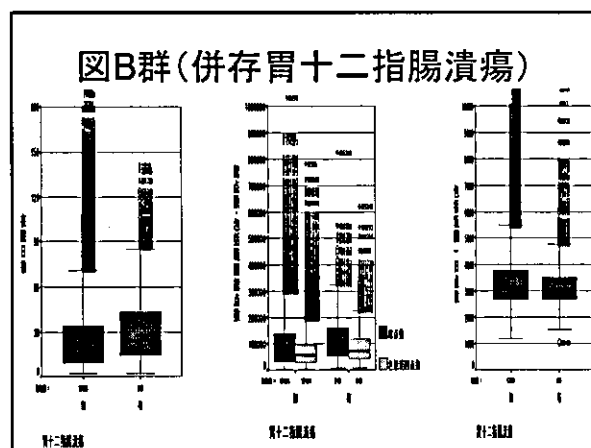
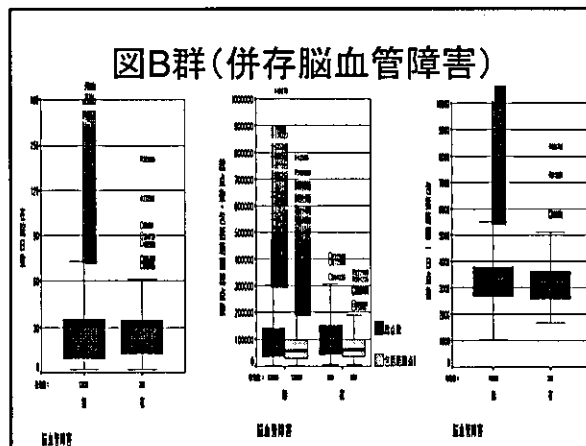
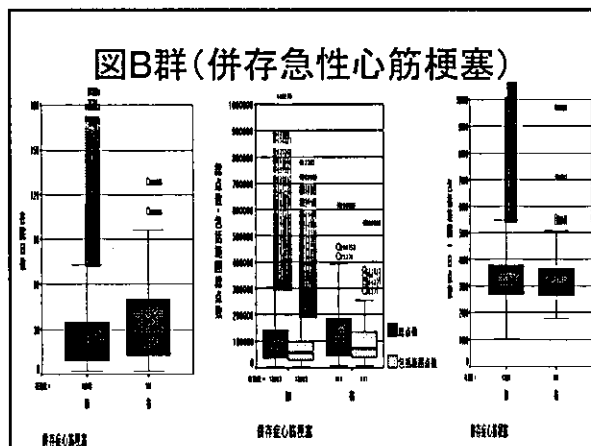
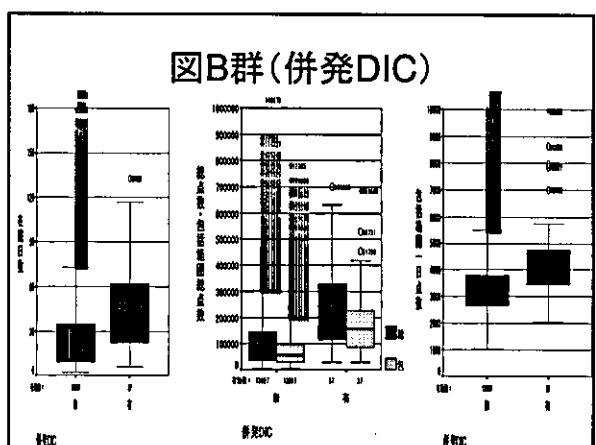
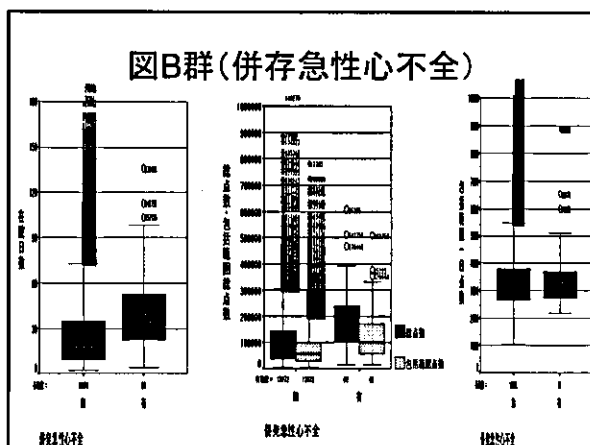
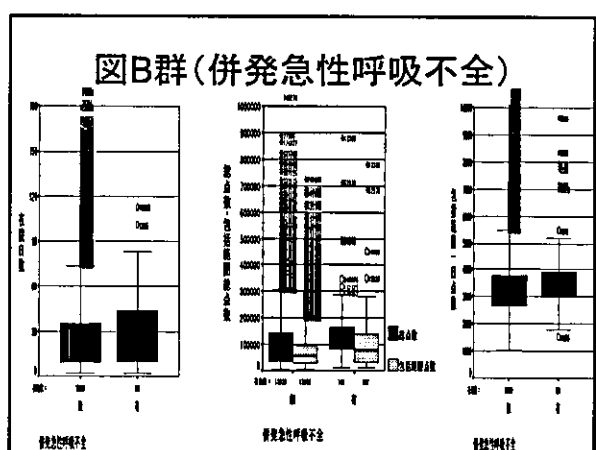
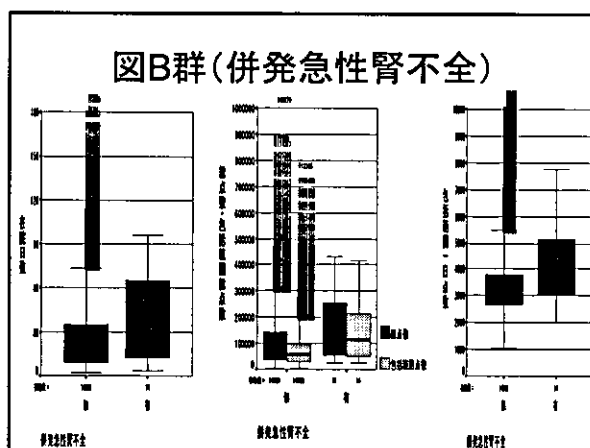
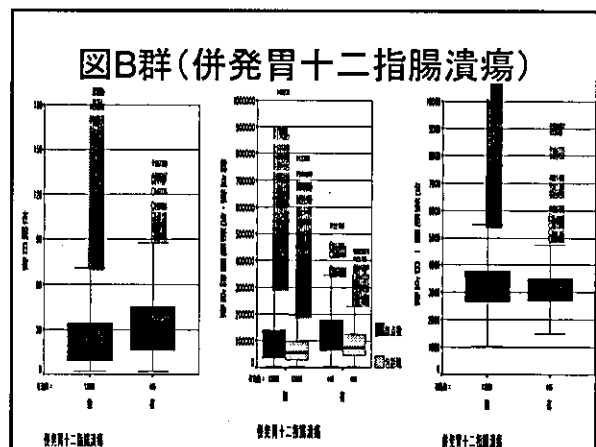
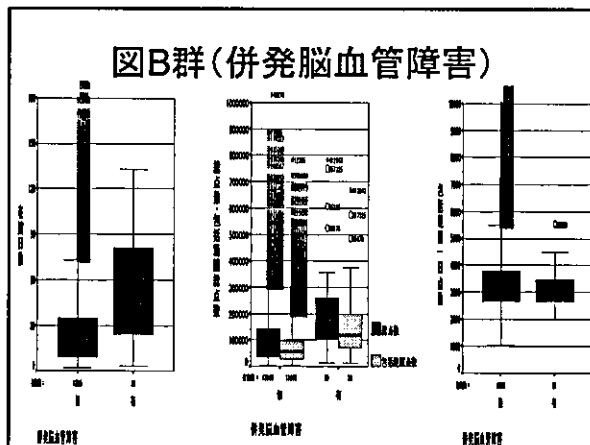
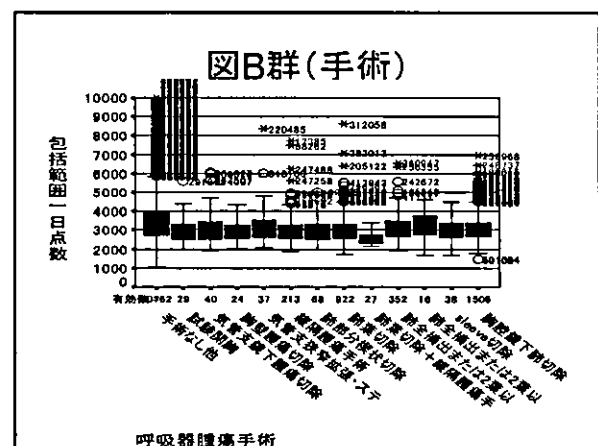
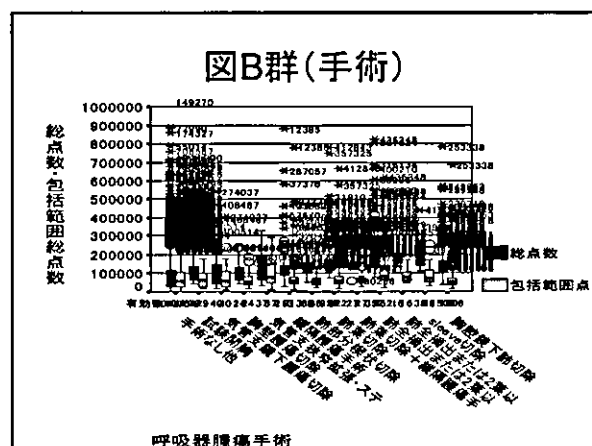
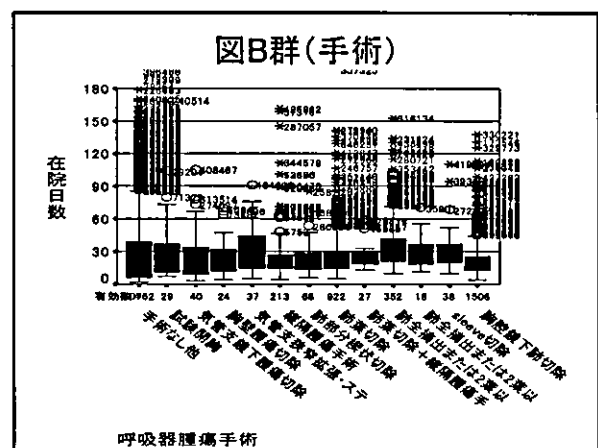
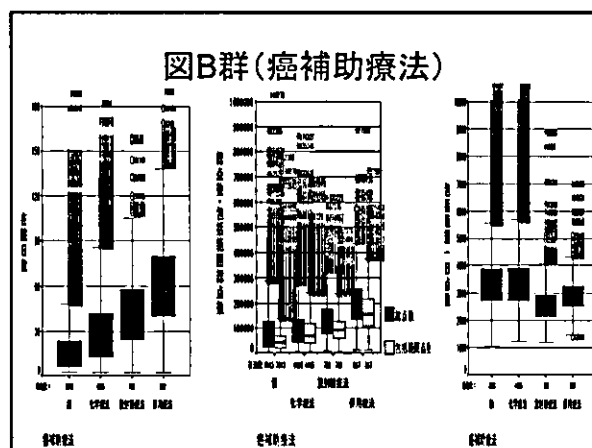
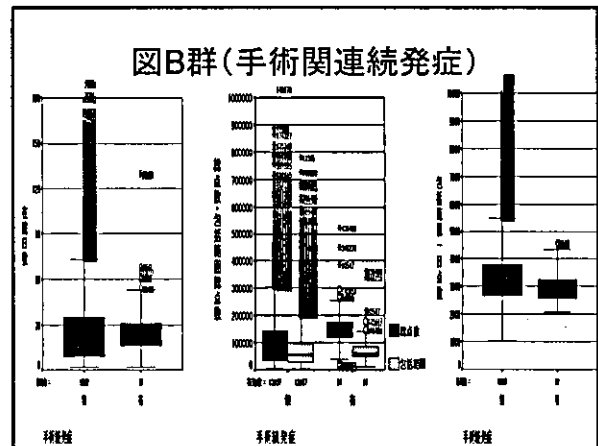
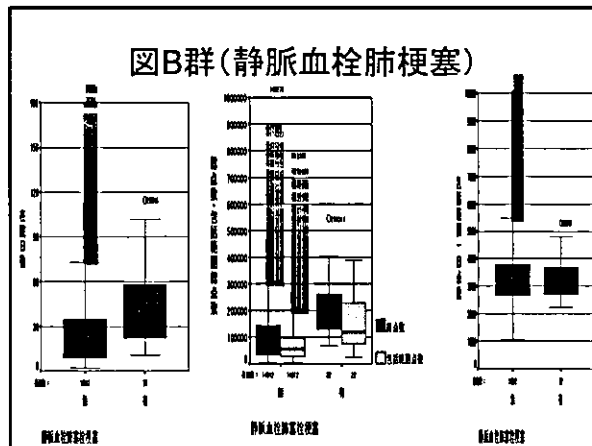
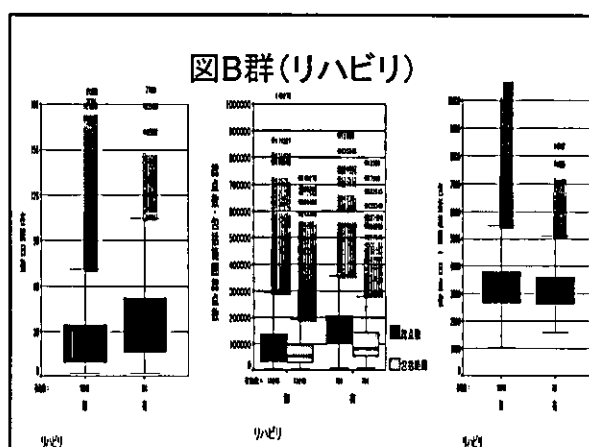
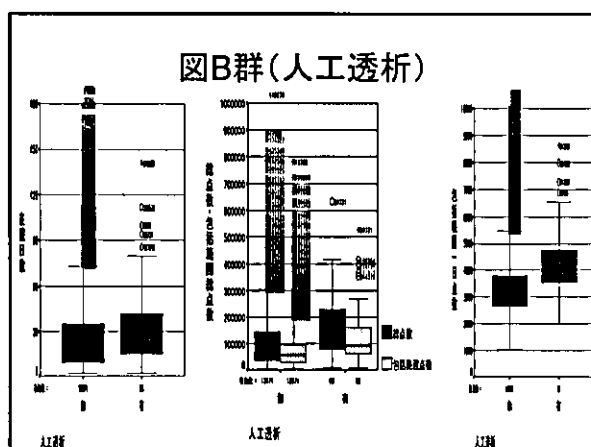
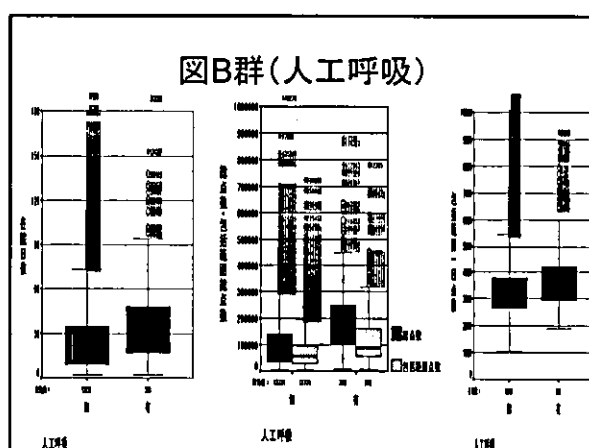
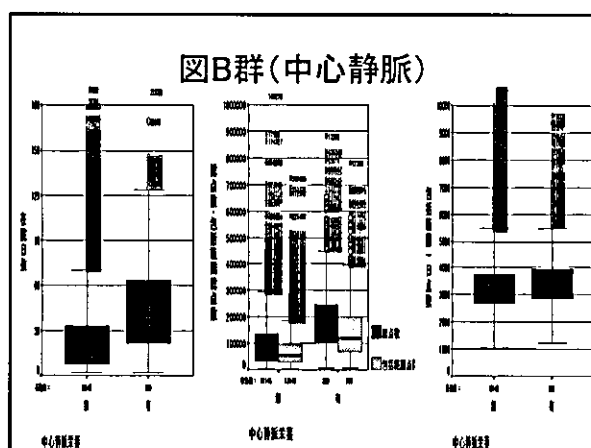
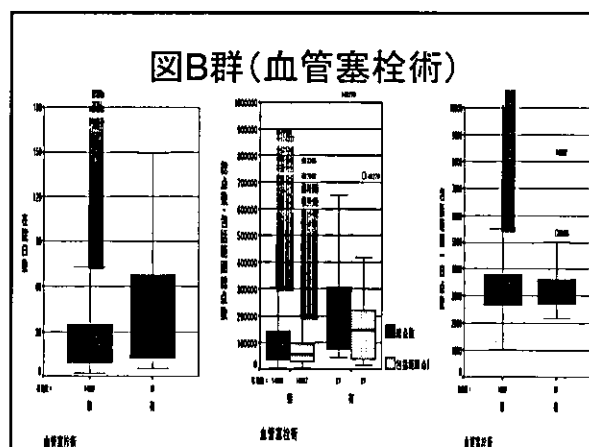
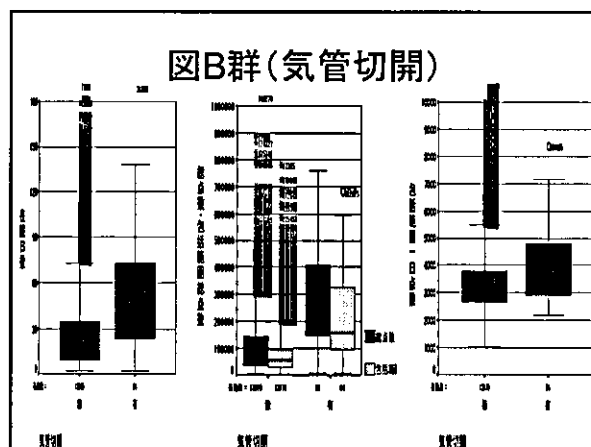


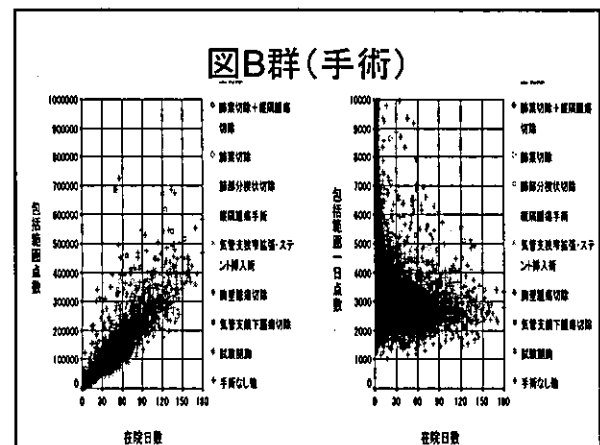
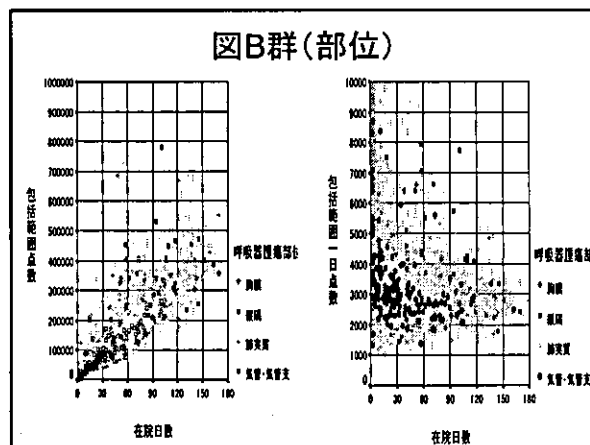
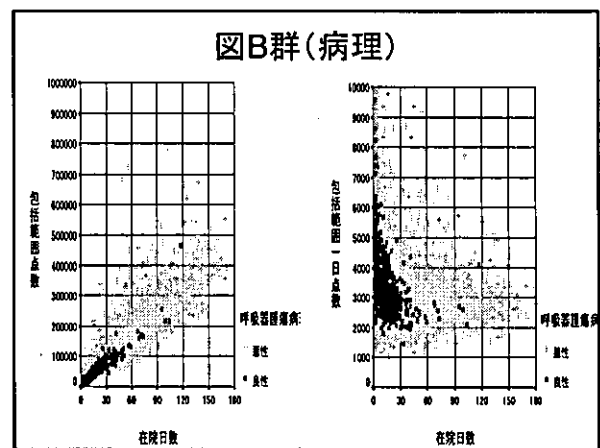
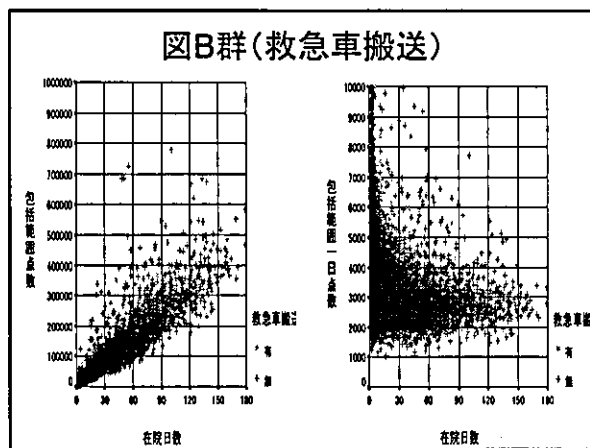
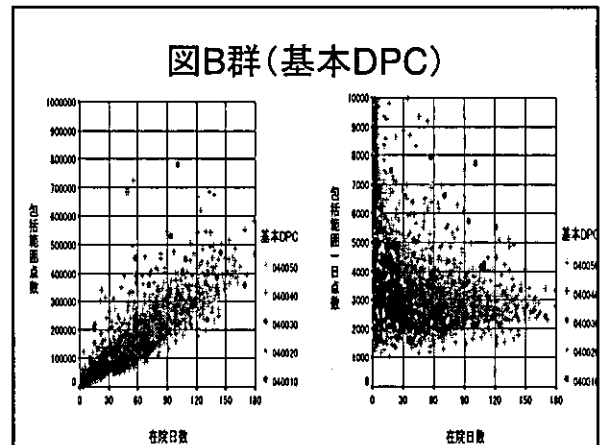
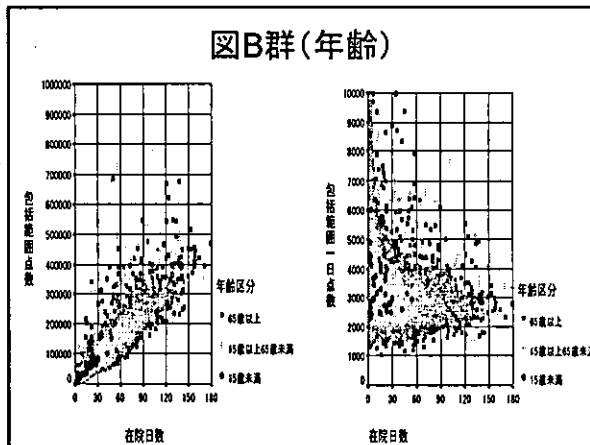


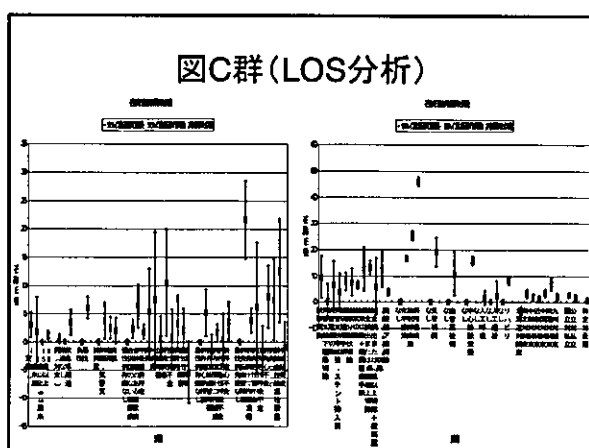
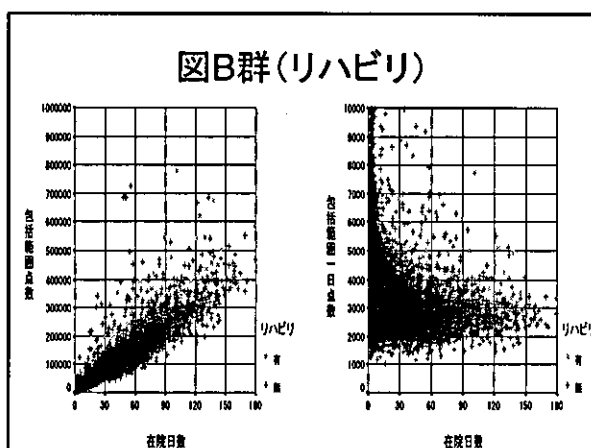
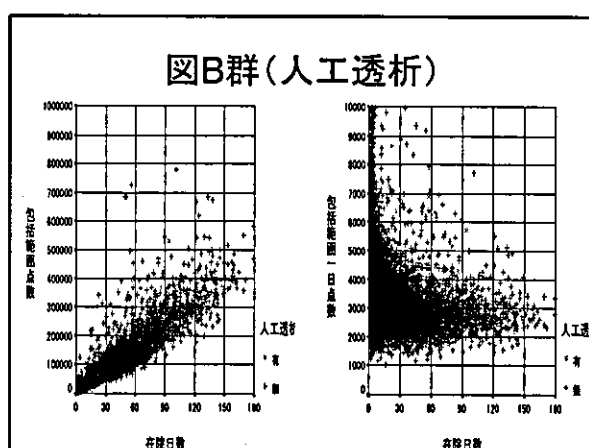
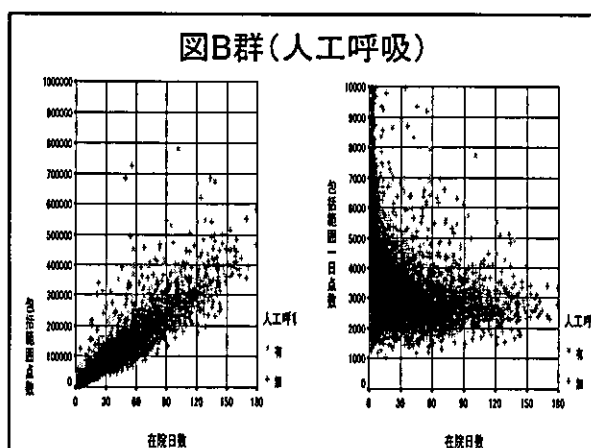
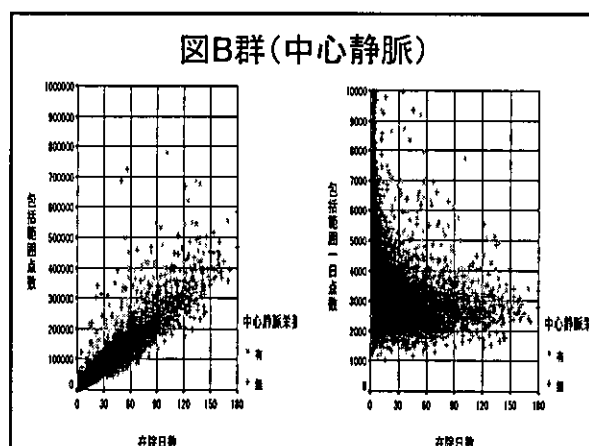
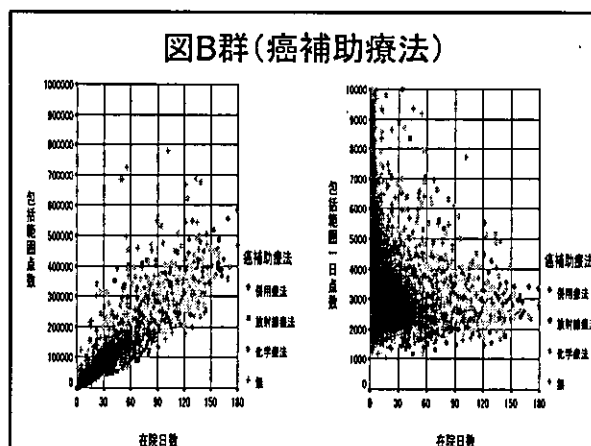
急性入院後併発続発症

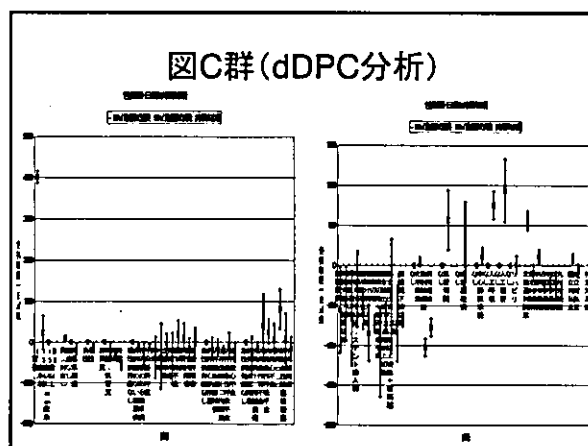
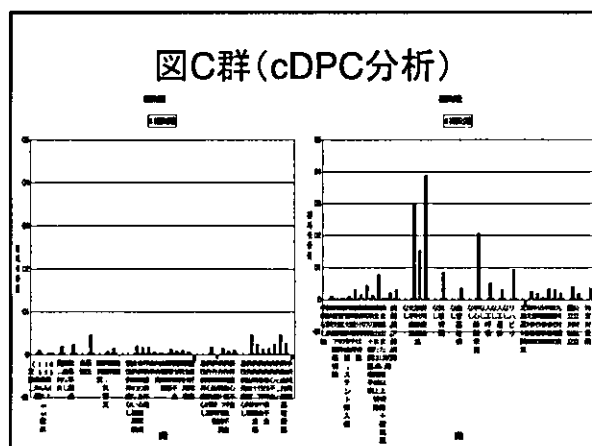
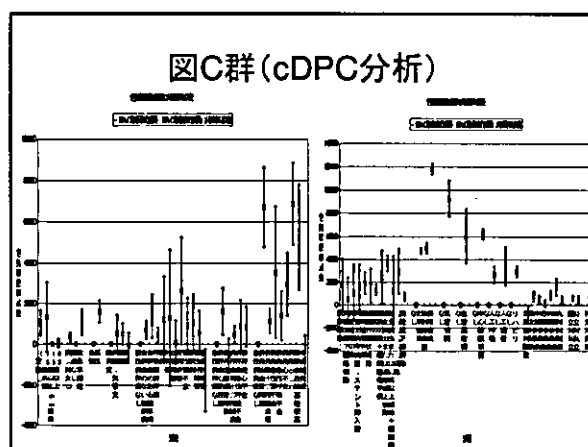
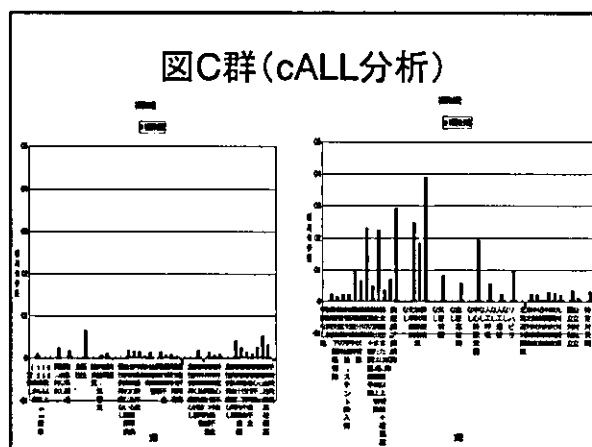
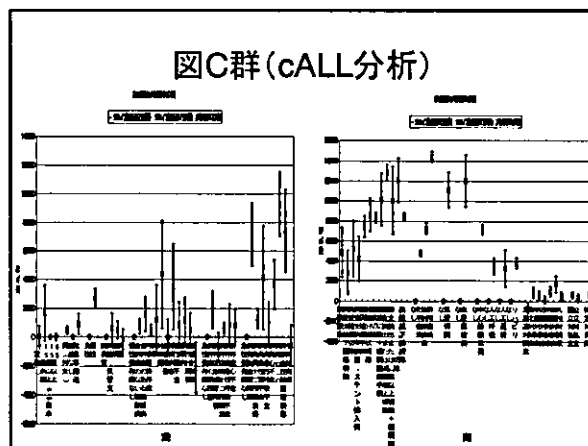
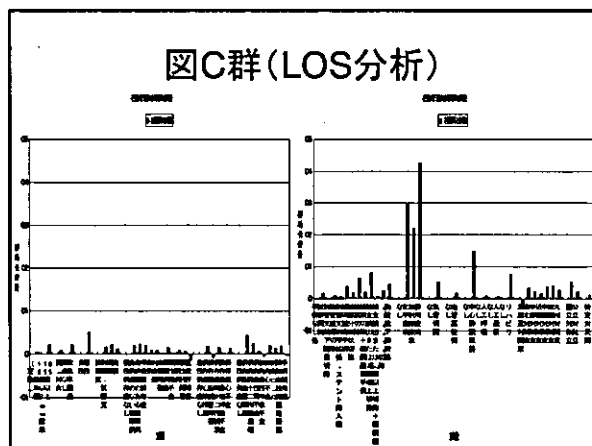


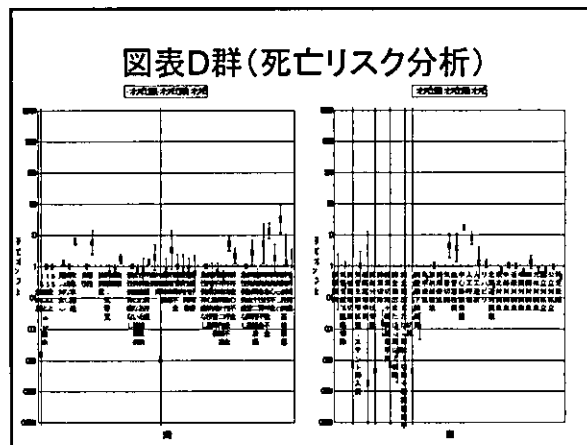
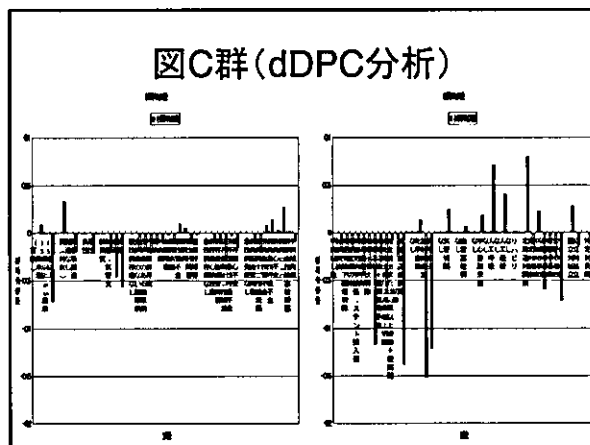












厚生労働科学研究費補助金（診断群分類を活用した医療サービスのコスト推計に関する研究事業）分担研究報告書

標準手術・処置マスターと特定保険医療材料とのマッピングの検討

分担研究者：遠藤 明 （財）医療情報システム開発センター 専務理事
研究協力者：岡田 美保子 川崎医療福祉大学医療情報学 教授

研究要旨 本調査は、国内での電子カルテ用標準マスターとして開発された ICD-9CM 対応電子カルテ用標準手術処置マスター（以下「標準手術処置マスター」）と、医療用具として厚生労働大臣の承認を取得し保険の適用を受けている特定保険医療材料との連携の可能性を検討、及び対応付けを目的に実施した。

本年度は、方向性を決定するための準備作業として、標準手術処置マスターと特定保険医療材料の分類（日本医療器材工業会編集「特定保険医療材料ガイドブック2004年版」）（以下「ガイドブック」）とのマッピングを試行した。

A. 研究目的

本調査は、国内での電子カルテ用標準マスターとして開発された ICD-9CM 対応電子カルテ用標準手術処置マスター（以下「標準手術処置マスター」）と、医療用具として厚生労働大臣の承認を取得し保険の適用を受けている特定保険医療材料との連携の可能性を検討、及び対応付けを目的に実施した。

本年度は、方向性を決定するための準備作業として、標準手術処置マスターとガイドブックの分類とのマッピングを試行した。

ックの分類との対応付け

それぞれに K コードを持っているので、K コードの関連付けにより対応付けを行った。

また、標準手術処置マスターと医療材料コード対応マスターの利用の便宜上、検索ツールの作成を検討した。

2. 対応テーブルの具体的な利用方法

医療機関で行われる手術処置で使用可能な特定保険医療材料のグルーピングが出来るため効率的な処理が可能となる。

B. 研究方法

1. 標準手術処置マスターとガイドブ

1. マスター構成ファイル

C. 研究結果

1. 作業結果

「標準手術・処置マスター（第1_5版）」と「特定保険医療材料」を対応付けした表

は、Access のデータベース「標準手術・処置マスター_医療材料コード.mdb」として格納している。なお、そのうちの主テーブルは、便宜上 Excel 形式でも保存している。

(1) Access データベース

- ・ データベース名: 標準手術・処置マスター_医療材料コード.mdb
- ・ データベースの内容は、以下のとおり。ただし、b)～d)は、a)の主ファイルを作成するにあたり、利用したファイルである。図 1 に、a)～c)の関連を図示する。

a) 9CM_Zai_コード結合テーブル (1,897 件)

主ファイル

b) Zai テーブル (172 件)

医療材料コードと、そのカテゴリ (大

分類) を定義したファイル。

c) 9CM_Zai テーブル (2,765 件)

「R_9CM1_5 テーブル」の K コードに医療材料コードを対応付けたファイル。

d) R_9CM1_5 テーブル (2,765 件)

標準手術・処置マスターのレセ電算名称のみを集めたテーブル。

e) P r c d r l_5 テーブル (9,686 件)

標準手術・処置マスターの主ファイル。

(2) Excel ファイル

- ・ ファイル名: 9CM_ZAI.xls (2,765 件)
- ・ 説明: 標準手術・処置マスター_医療材料コード.mdb の(1)9CM_Zai テーブルを Excel に抽出したファイル。

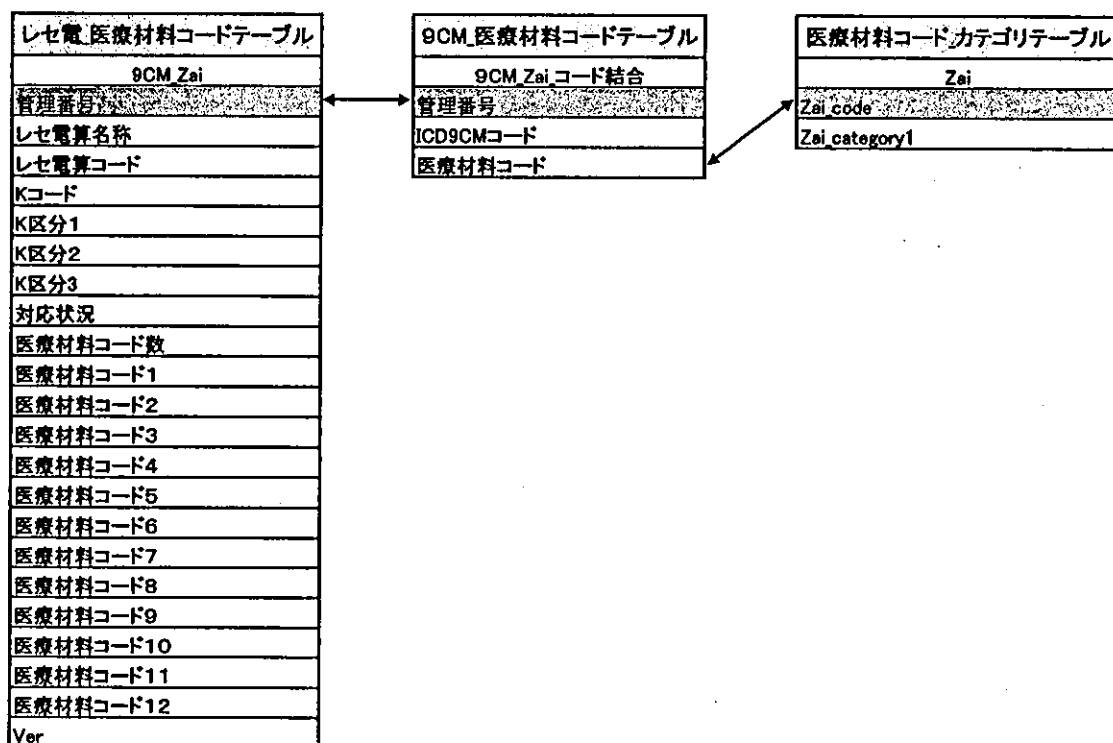


図 1. 標準手術・処置マスター_医療材料コードマスター構成図

2. テーブルの内容

a)～c)のテーブルの内容を、表1～表3に示す。

a) 9CM_Zai_コード結合テーブル (1,897 件)

本マスターの主ファイル。

表 1. 9CM_Zai_コード結合テーブル

項目名	最大長	内容
管理番号	5	標準手術・処置マスターで使用されている管理コード。
ICD9CMコード	4	標準手術・処置マスターで使用されているICD9CMコード。
医療材料コード	10	特定保険医療材料ガイドブック2004年度版で使用されている医療材料コード。

b) Zai テーブル (172 件)

医療材料コードと、そのカテゴリ（大分類）を定義したファイル。

表 2. Zai テーブル

項目名	最大長	内容
Zai_code	10	特定保険医療材料ガイドブック2004年度版で使用されている医療材料コード。
Zai_category1	200	医療材料コードの大分類名。

c) 9CM_Zai テーブル (2,765 件)

「R_9CM1_5 テーブル」の K コードに医療材料コードを対応付けたファイル。

表 3. 9CM_Zai テーブル

項目名	最大長	内容
管理番号	5	標準手術・処置マスターで使用されている管理コード。
レセ電算名称	64	レセ電算名称。
レセ電算コード	9	「レセ電算名称」に付与されたレセ電算コード。
Kコード	7	「レセ電算コード」に対応する診療報酬点数表コード。
K区分1	5	
K区分2	5	
K区分3	5	
対応状況	1	Kコードに対応する医療材料コードが存在する場合は「1」が入っている。
医療材料コード数	2	Kコードに対応する医療材料コード数
医療材料コード1	10	特定保険医療材料ガイドブック2004年度版で使用されている医療材料コード。
医療材料コード2	10	
医療材料コード3	10	
医療材料コード4	10	
医療材料コード5	10	
医療材料コード6	10	
医療材料コード7	10	
医療材料コード8	10	
医療材料コード9	10	
医療材料コード10	10	
医療材料コード11	10	
医療材料コード12	10	
Ver	6	更新年月(西暦4桁+月2桁)。

3.

検索ツールについて

標準手術・処置マスターコード_医療材料コード対応マスターの利用の便宜上、検索ツールを作成した。本検索ツールは、「標準手術・処置マスターコード」、「医療材料コード」、「大分類」を条件として、マスターより検索するものである。起動時は全ての対応関係が表示される。図2に本検索ツールの画面構成を示す。

(1) 条件の入力

検索条件は、「標準手術・処置マスターコード」、「医療材料コード」、「大分類名」で指定する。条件はORで結ばれる。

(2) 実行ボタン

「抽出ボタン」：検索条件を実行する。

「解除ボタン」：検索条件をリセットし、デフォルト表示に戻る。

「CSV形式ボタン」：出力先と出力ファイル名を指定し、CSV形式で出力する。

「印刷ボタン」：9CM_医療材料コード対応表の印刷プレビュー画面を表示する。

「アイコンボタン」：9CM_Zai検索フォームを終了する。

(3) 9CM_医療材料コード対応表

「管理番号」、「9CMコード」、「医療材料コード」、「大分類」の一覧表示。

(4) 詳細情報

別ウィンドウに「レセ電算名称」と「Kコード」を表示する。

管理番号	9CMコード	医療材料コード	大分類
30001		024	脳・脊髄腔用カニューレ
30005	0124	084	人工硬膜
30006	0124	084	人工硬膜
30010	0124	080	固定用内割子(スクリュー)
30010	0124	061	固定用内割子(プレート)
30010	0124	084	人工硬膜
30012	0131	060	固定用内割子(スクリュー)
30012	0131	061	固定用内割子(プレート)
30012	0131	084	人工硬膜
30013	0139	060	固定用内割子(スクリュー)
30013	0139	061	固定用内割子(プレート)
30013	0139	084	人工硬膜
30014	0139	084	人工硬膜
30016	0139	084	人工硬膜
30020	0159	084	人工硬膜

図2. 9CM_Zai 検索フォーム

D. 考察

本年度は、それぞれのマスター等の内容を踏まえて作業を行った。対応付けの項目をKコードに設定することについては、有効だと考えられる。標準手術処置マスターとガイドブックの分類とのマッピングは実際の特典保険医療材料(アイテム数 30 万～50 万)を対応付けることの可能性を示している。

E. 結論

今後の進め方及び問題点

① 分類との対応付けが可能となったため、製品の分類対応付けを行う。②製

品の JMDN コードを割り振る。③ 個々の特典保険医療材料と標準処置手術マスターの完全対応が図られる。

問題点は、①2 年毎の診療報酬改定により、標準処置手術マスターの変更が必要となってくる。②特典保険医療材料の追加・削除が頻繁に行われる。③恒常的な維持管理が必要となってくる。

ICD9CM_医療材料コード対応表

管理番号	ICD9CMコード	医療材料コード	大分類
30001	0102	024	脳・脊髄腔用カニューレ
30005	0124	084	人工硬膜
30006	0124	084	人工硬膜
30010	0124	060	固定用内副子(スクリュー)
30010	0124	061	固定用内副子(プレート)
30010	0124	084	人工硬膜
30012	0131	060	固定用内副子(スクリュー)
30012	0131	061	固定用内副子(プレート)
30012	0131	084	人工硬膜
30013	0139	060	固定用内副子(スクリュー)
30013	0139	061	固定用内副子(プレート)
30013	0139	084	人工硬膜
30014	0139	084	人工硬膜
30016	0139	084	人工硬膜
30020	0159	084	人工硬膜
30021	0159	084	人工硬膜
30022	0159	084	人工硬膜
30023	0159	084	人工硬膜
30024	0159	084	人工硬膜
30026	016	084	人工硬膜
30027	016	084	人工硬膜
30028	016	084	人工硬膜
30031	0206	071	カスタムメイド人工関節及びカスタムメイド人工骨
30031	0206	078	人工骨
30031	0206	079	骨セメント
30031	0206	084	人工硬膜
30032	0212	084	人工硬膜
30033	0212	084	人工硬膜
30035	0291	084	人工硬膜
30036	0293	085	脳深部刺激装置用リードセット(4極用)
30036	0293	086	脳深部刺激装置用受信器(4極用)
30036	0293	087	脊髄刺激装置用リードセット(4極用)

管理番号	ICD9CMコード	医療材料コード	大分類
30036	0293	088	脊髄刺激装置用受信器(4極用)
30036	0293	089	脳深部又は脊髄刺激装置用受信器(8極用)
30036	0293	090	埋込型脳・脊髄電気刺激装置(4極用)
30037	0299	084	人工硬膜
30038	0299	084	人工硬膜
30039	0299	084	人工硬膜
30041	0309	084	人工硬膜
30042	0309	024	脳・脊髄腔用カニューレ
30046	0309	110	微繊維性コラーゲン
30048	0329	084	人工硬膜
30049	0329	084	人工硬膜
30050	0329	084	人工硬膜
30051	0329	084	人工硬膜
30055	034	084	人工硬膜
30056	034	084	人工硬膜
30057	034	084	人工硬膜
30068	0391	019	携帯型ディスポーザブルPCA用注入ポンプ
30072	0393	085	脳深部刺激装置用リードセット(4極用)
30072	0393	086	脳深部刺激装置用受信器(4極用)
30072	0393	087	脊髄刺激装置用リードセット(4極用)
30072	0393	088	脊髄刺激装置用受信器(4極用)
30072	0393	089	脳深部又は脊髄刺激装置用受信器(8極用)
30072	0393	090	埋込型脳・脊髄電気刺激装置(4極用)
30073	0398	112	頭・静脈、腹腔シャントバルブ
30087	0407	084	人工硬膜
30128	0442	084	人工硬膜
30129	0442	084	人工硬膜
30286	0942	023	涙液・涙道シリコンチューブ
30291	0951	092	涙点プラグ
30295	0973	023	涙液・涙道シリコンチューブ
30427	186	078	人工骨
30428	186	078	人工骨
30434	190	078	人工骨
30435	1919	078	人工骨

管理番号	ICD9CMコード	医療材料コード	大分類
30436	194	078	人工骨
30436	194	106	真皮欠損用グラフト
30437	194	106	真皮欠損用グラフト
30440	2001	032	経鼓膜換気チューブ
30446	2042	106	真皮欠損用グラフト
30473	2096	093	人工内耳用材料
30497	2171	094	鼻中隔プロテーゼ
30498	2171	094	鼻中隔プロテーゼ
30502	215	094	鼻中隔プロテーゼ
30504	2189	094	鼻中隔プロテーゼ
30535	2279	078	人工骨
30541	2260	106	真皮欠損用グラフト
30545	251	106	真皮欠損用グラフト
30546	251	106	真皮欠損用グラフト
30587	2731	106	真皮欠損用グラフト
30601	2749	106	真皮欠損用グラフト
30604	2749	106	真皮欠損用グラフト
30606	2754	095	鼻孔プロテーゼ
30609	2762	106	真皮欠損用グラフト
30610	2762	106	真皮欠損用グラフト
30611	2762	106	真皮欠損用グラフト
30667	3009	096	人工喉頭
30667	403	096	人工喉頭
30678	3029	096	人工喉頭
30678	403	096	人工喉頭
30679	3029	097	気管・気管支ステント
30689	304	096	人工喉頭
30699	3172	039	気管切開後留置用チューブ
30701	3175	078	人工骨
30701	3175	096	人工喉頭
30716	3222	103	組織代用人工繊維布
30719	3229	103	組織代用人工繊維布
30725	323	103	組織代用人工繊維布
30735	324	103	組織代用人工繊維布

管理番号 ICD9CMコード 医療材料コード 大分類

30736	324	103	組織代用人工繊維布
30743	325	029	吸引留置カテーテル
30743	325	103	組織代用人工繊維布
30764	3404	025	套管針カテーテル
30764	3404	029	吸引留置カテーテル
30766	3404	025	套管針カテーテル
30766	3404	029	吸引留置カテーテル
30784	344	103	組織代用人工繊維布
30803	3501	132(8)	弁拡張用カテーテル
30804	3502	015	弁拡張用カテーテル用ガイドワイヤー
30804	3502	132(8)	弁拡張用カテーテル
30806	3503	132(8)	弁拡張用カテーテル
30811	3511	029	吸引留置カテーテル
30811	3511	121	機械弁
30811	3511	122	生体弁
30811	3511	123	弁付きグラフト(生体弁)
30811	3511	124	人工弁輪
30812	3511	029	吸引留置カテーテル
30812	3511	121	機械弁
30812	3511	122	生体弁
30812	3511	123	弁付きグラフト(生体弁)
30812	3511	124	人工弁輪
30812	3513	029	吸引留置カテーテル
30812	3513	121	機械弁
30812	3513	122	生体弁
30812	3513	123	弁付きグラフト(生体弁)
30812	3513	124	人工弁輪
30813	3511	029	吸引留置カテーテル
30813	3511	121	機械弁
30813	3511	122	生体弁
30813	3511	123	弁付きグラフト(生体弁)
30813	3511	124	人工弁輪
30813	3514	029	吸引留置カテーテル
30813	3514	121	機械弁

管理番号	ICD9CMコード	医療材料コード	大分類
30813	3514	122	生体弁
30813	3514	123	弁付きグラフト(生体弁)
30813	3514	124	人工弁輪
30814	3511	029	吸引留置カテーテル
30814	3511	121	機械弁
30814	3511	122	生体弁
30814	3511	123	弁付きグラフト(生体弁)
30814	3511	124	人工弁輪
30814	3512	029	吸引留置カテーテル
30814	3512	121	機械弁
30814	3512	122	生体弁
30814	3512	123	弁付きグラフト(生体弁)
30814	3512	124	人工弁輪
30815	3511	029	吸引留置カテーテル
30815	3511	121	機械弁
30815	3511	122	生体弁
30815	3511	123	弁付きグラフト(生体弁)
30815	3511	124	人工弁輪
30815	3512	029	吸引留置カテーテル
30815	3512	121	機械弁
30815	3512	122	生体弁
30815	3512	123	弁付きグラフト(生体弁)
30815	3512	124	人工弁輪
30815	3513	029	吸引留置カテーテル
30815	3513	121	機械弁
30815	3513	122	生体弁
30815	3513	123	弁付きグラフト(生体弁)
30815	3513	124	人工弁輪
30816	3511	029	吸引留置カテーテル
30816	3511	121	機械弁
30816	3511	122	生体弁
30816	3511	123	弁付きグラフト(生体弁)
30816	3511	124	人工弁輪
30816	3513	029	吸引留置カテーテル

管理番号	ICD9CMコード	医療材料コード	大分類
30816	3513	121	機械弁
30816	3513	122	生体弁
30816	3513	123	弁付きグラフト(生体弁)
30816	3513	124	人工弁輪
30816	3514	029	吸引留置カテーテル
30816	3514	121	機械弁
30816	3514	122	生体弁
30816	3514	123	弁付きグラフト(生体弁)
30816	3514	124	人工弁輪
30817	3511	029	吸引留置カテーテル
30817	3511	121	機械弁
30817	3511	122	生体弁
30817	3511	123	弁付きグラフト(生体弁)
30817	3511	124	人工弁輪
30817	3512	029	吸引留置カテーテル
30817	3512	121	機械弁
30817	3512	122	生体弁
30817	3512	123	弁付きグラフト(生体弁)
30817	3512	124	人工弁輪
30817	3514	029	吸引留置カテーテル
30817	3514	121	機械弁
30817	3514	122	生体弁
30817	3514	123	弁付きグラフト(生体弁)
30817	3514	124	人工弁輪
30819	3512	029	吸引留置カテーテル
30819	3512	121	機械弁
30819	3512	122	生体弁
30819	3512	123	弁付きグラフト(生体弁)
30819	3512	124	人工弁輪
30820	3512	029	吸引留置カテーテル
30820	3512	121	機械弁
30820	3512	122	生体弁
30820	3512	123	弁付きグラフト(生体弁)
30820	3512	124	人工弁輪

管理番号 ICD9CMコード 医療材料コード 大分類

30820	3513	029	吸引留置カテーテル
30820	3513	121	機械弁
30820	3513	122	生体弁
30820	3513	123	弁付きグラフト(生体弁)
30820	3513	124	人工弁輪
30821	3512	029	吸引留置カテーテル
30821	3512	121	機械弁
30821	3512	122	生体弁
30821	3512	123	弁付きグラフト(生体弁)
30821	3512	124	人工弁輪
30821	3514	029	吸引留置カテーテル
30821	3514	121	機械弁
30821	3514	122	生体弁
30821	3514	123	弁付きグラフト(生体弁)
30821	3514	124	人工弁輪
30822	3512	029	吸引留置カテーテル
30822	3512	121	機械弁
30822	3512	122	生体弁
30822	3512	123	弁付きグラフト(生体弁)
30822	3512	124	人工弁輪
30822	3513	029	吸引留置カテーテル
30822	3513	121	機械弁
30822	3513	122	生体弁
30822	3513	123	弁付きグラフト(生体弁)
30822	3513	124	人工弁輪
30822	3514	029	吸引留置カテーテル
30822	3514	121	機械弁
30822	3514	122	生体弁
30822	3514	123	弁付きグラフト(生体弁)
30822	3514	124	人工弁輪
30825	3513	029	吸引留置カテーテル
30825	3513	121	機械弁
30825	3513	122	生体弁
30825	3513	123	弁付きグラフト(生体弁)